

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

コイル塞栓術後の再破裂・再増大因子の検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2015年1月1日から2025年5月31日に昭和医科大学病院、昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学北部病院脳神経外科で脳動脈瘤に対しコイル塞栓術での手術を行った患者さん
2. 研究目的・方法 近年、破裂・未破裂動脈瘤に対し、血管内治療（コイル塞栓術）で治療する症例が増加しています。しかし、コイル塞栓術で治療した破裂・未破裂動脈瘤が、治療後に再発することがあり、日本国内での治療成績をまとめたJR-NET2（Japan Registry of Neuroendovascular Therapy）（2007-2009）やJR-NET3（2010-2014）では、完全閉塞率が約59-65%とされています。 当科で治療した患者さんのデータを後方視的に検討することで、当科での治療成績及び、再治療が必要となる要因を検討し、今後の治療成績向上に努めます。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 診療録、年齢、性別、手術記録、動脈瘤の情報（大きさ、形態、部位）、内服薬
5. 外部への試料・情報の提供 本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和医科大学病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和医科大学病院および昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学横浜市北部病院から昭和医科大学医学部脳神経外科学講座（提供先）へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学病院 脳神経外科 光樂 泰信

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 脳神経外科 氏名：光樂 泰信

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

昭和大学 6号館 3階 313号室昭和大学医学部脳神経外科学講座

電話番号： 03-3784-8605